資料１－２

<table>
<tr><td>事業名</td><td>ワンストップの総合相談事業（地域就労支援事業）</td></tr>
<tr><td>事業目的</td><td>働く意欲・希望がありながら、雇用・就労を妨げる様々な阻害要因を抱える就職に向けた支援が必要な人に対し、あらゆる雇用・就労施策等を活用し、また、地域の関係機関などと協力・連携することにより、その自立・就労を支援する。</td></tr>
<tr><td>事業内容</td><td>１　地域就労支援センターの運営
雇用・就労に関連する各種施策の情報収集や整理、地域の就労支援機関との連携・協力に向けたネットワークの形成並びに連絡調整、相談者等の個人情報及び相談記録の管理などを行う事業拠点の運営
・所 在 地：大阪市浪速区木津川２－３－８　Ａ´ワーク創造館内
・業務時間：月曜日～金曜日 ９時 30 分～18 時（祝日、年末年始を除く。）
２　就労相談事業（面談相談、電話相談、一部区役所における出張相談）
来所又は電話により専門相談員が就労に向けたあらゆる相談に対応（応募書類の作成支援や面接対策、職業適性検査などを含む。）
３　職業紹介事業
しごと情報ひろば事業（本市による無料の職業相談・職業紹介事業）との連携及びハローワークの求人情報のオンライン提供を活用した職業の斡旋
４　雇用・就労支援事業
対人関係能力やコミュニケーション能力の向上につながるグループワークやハローワークと連携した就職支援イベントの実施など</td></tr>
<tr><td>事業効果
（目標）</td><td>・相談件数：2,500 件
・就職件数：　230 件</td></tr>
<tr><td>実施期間</td><td>平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日</td></tr>
<tr><td>28 予算額</td><td>33,469 千円</td></tr>
<tr><td>進捗状況
（実績等）</td><td>【平成 28 年度（29 年 2 月末）】
・相談件数：3,516 件（面談：1,486 件、電話：2,030 件）
・就職件数：202 件
・グループワーク（対人関係能力やコミュニケーション能力の向上）の実績
2 グループで各 18 回（計 36 回）実施、延べ 137 名が参加
・ハローワークとの連携イベント（ハローステップ就職応援プラザ）の実績
地域就労支援センターのＰＲも兼ねて管轄のハローワークなどと連携し、市民の身近な場所で就職相談会を開催（就職面接会なども同時開催）
<table>
<tr><td>開 催 日</td><td>開催場所</td><td>参加者</td><td>ハローワーク管轄</td></tr>
<tr><td>H28.08.05</td><td>城東区民センター</td><td>151 名</td><td>ハローワーク大阪東</td></tr>
<tr><td>H28.09.15</td><td>住吉区役所</td><td>32 名</td><td>ハローワーク阿倍野</td></tr>
<tr><td>H28.10.07</td><td>中央図書館</td><td>53 名</td><td>ハローワーク大阪西</td></tr>
<tr><td>H28.12.08</td><td>福島区役所</td><td>82 名</td><td>ハローワーク梅　田</td></tr>
<tr><td>H29.02.09</td><td>東淀川区民ホール</td><td>41 名</td><td>ハローワーク東淀川</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>利用者
属性分析</td><td>
相談者人数：計 376 名【平成 28 年 4 月～平成 29 年 2 月実績】
（性別、年齢階層別の内訳）
<table>
<tr><td>性　別
年齢階層</td><td>男　性</td><td>女　性</td><td>合　計</td></tr>
<tr><td>20 歳未満</td><td>3 名</td><td>1 名</td><td>4 名</td></tr>
<tr><td>20 歳以上 34 歳未満</td><td>47 名</td><td>19 名</td><td>66 名</td></tr>
<tr><td>35 歳以上 55 歳未満</td><td>107 名</td><td>55 名</td><td>162 名</td></tr>
<tr><td>55 歳以上 70 歳未満</td><td>76 名</td><td>37 名</td><td>113 名</td></tr>
<tr><td>70 歳以上</td><td>21 名</td><td>9 名</td><td>30 名</td></tr>
<tr><td>不　明</td><td>1 名</td><td>0 名</td><td>1 名</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>255 名</td><td>121 名</td><td>376 名</td></tr>
</table>
（就労支援レベル別の内訳）
レベル０　40 名（就業中：継続的な支援が必要）
レベル１　83 名（就労阻害要因が低い：情報提供・アドバイスなど）
レベル２ 169 名（就労阻害要因が中程度：長期離職者など主に就労関連の課題）
レベル３　72 名（就労阻害要因が高い：生活、家族など課題が多岐で輻輳）
レベル４　 8 名（就労阻害要因が深刻：緊急性が高く専門機関への誘導を優先）
不　明　4 名
※同一レベルでも年齢や性別、経歴など本人の置かれている状況は様々であり、対応もカウンセリングから他の専門機関への誘導まで幅が広く画一的でない。
（阻害要因の最近の傾向）
就労阻害要因として多くみられるのが、高齢の方（年金がわずかで生活が苦しい方）と障がいのある方（身体、知的、精神、発達の種別は問わない。）である。また、特定疾患があるが障がい認定を受けられない方、40 代～50 代半ばでリストラ等によって転職を余儀なくされた方からも相談が寄せられている。
</td></tr>
<tr><td>目標に
対する実績</td><td>
計画　　実績
・相談件数：2,500 件　⇒　3,835 件（平成 28 年 4 月～2 月実績に基づく推計）
・就職件数：　230 件　⇒　220 件（平成 28 年 4 月～2 月実績に基づく推計）
</td></tr>
<tr><td>分析・課題</td><td>
・相談件数は昨年度（4,016 件）と比べて減少したが、出張相談を行っていた施設の廃止等に伴う影響を考慮すると目標を大きく上回る結果となった。本事業は阻害要因の解消というよりは、阻害要因があることを前提にそこから可能性を見い出して就労に結びつける相談援助が中心となるなか、利用者アンケートで約 99%の方が満足と回答しており、引き続き相談ニーズに対応していく。
・課題としては、市内居住者の事業に対する認知度を高めるための取組みをさらに強化する必要がある。
</td></tr>
<tr><td>改善策</td><td>
・地域就労支援センター及びセンターが実施している就労相談などの事業内容が的確に伝わるよう、わかりやすくて親しみやすい印刷物（ポスター、チラシ）を作成して事業広報に取り組んでいく。
</td></tr>
</table>

ハローステップ就職応援プラザの様子
（ハローワークと連携した就職支援イベント）

▲じょうとう

▲すみよし

▲ふくしま

▲ひがしよどがわ

▲ひがしよどがわ（地域就労支援センター）

▲ひがしよどがわ（セミナー）